

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 714 号	氏名	安井 和明
学位審査委員	主 査	中島 正洋	
	副 査	上谷 雅孝	
	副 査	李 桃生	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、がん転移での上皮間葉移行 (epithelial-to mesenchymal transition: EMT) 誘導とがん幹細胞性質獲得との関連を甲状腺がんで明らかにするもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 甲状腺がん細胞株の中で上皮系形質を保持している未分化がん株 ACT-1 を対象に、変異 Braf 遺伝子、TGF-β 作用、SNAIL 過剰発現による EMT 誘導現象と、がん幹細胞性質獲得の評価として抗がん剤感受性、sphere 形成能、各種がん幹細胞マーカー発現、in vivo 腫瘍形成能を検討したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、甲状腺未分化がん細胞の EMT 誘導には SNAIL が重要で、その EMT 誘導時には aldehyde dehydrogenase (ALDH) 陰性分画にがん幹細胞候補細胞の存在することが判明し、今後の甲状腺がん幹細胞の同定に重要な示唆を与えたものと評価される。</p>			
<p>以上のように本論文は、甲状腺がん幹細胞研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			